



# 平成 25 年 9 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 5 月 9 日

上場会社名 株式会社ドワンゴ 上場取引所 東  
 コード番号 3715 URL <http://info.dwango.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 小松 百合弥 (TEL)03(3664)5477  
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 5 月 10 日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 25 年 9 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 9 月期第 2 四半期	17,373	△5.0	1,438	73.8	1,450	102.4	1,443	197.7
24 年 9 月期第 2 四半期	18,293	2.7	827	△27.1	717	△30.6	484	△30.1

(注) 包括利益 25 年 9 月期第 2 四半期 1,604 百万円 (168.0 %) 24 年 9 月期第 2 四半期 598 百万円 (△13.8%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 9 月期第 2 四半期	7,076.64	—
24 年 9 月期第 2 四半期	2,454.66	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25 年 9 月期第 2 四半期	25,999	19,442	74.6	95,283.23
24 年 9 月期	24,653	18,260	73.9	89,299.35

(参考) 自己資本 25 年 9 月期第 2 四半期 19,408 百万円 24 年 9 月期 18,217 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 9 月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25 年 9 月期	—	0.00			
25 年 9 月期(予想)			—	2,000.00	2,000.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成 25 年 9 月期の連結業績予想 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,500	3.5	2,000	47.8	2,000	55.9	2,300	—	11,274.01

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 通期の業績予想の詳細は四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計処理の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	204,052株	24年9月期	204,052株
25年9月期2Q	43株	24年9月期	43株
25年9月期2Q	204,052株	24年9月期2Q	197,554株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確実性が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年10月1日～平成25年3月31日）における我が国経済は、新政権発足後の円高修正の流れや、デフレ脱却に向けた政策が打ち出されたことにより、景気回復への期待が高まっています。

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）を取り巻く環境は、スマートフォンの普及が進み、様々なタブレット端末が発売され、通信機能を備えたデバイスの進化と多様化が進んでおります。それに伴い、新たなアプリやサービスが次々と登場し、スマートフォン関連の市場は拡大しております。

さらに、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、動画配信サービス、電子書籍などの利用も拡大しております。

この様な環境の中、当社グループにおきましては、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワークエンタテインメントサービス・コンテンツを携帯電話、スマートフォン、PC、家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結累計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、以下の前年同期比較については、変更後の報告セグメントの利益又は損失の測定方法により作成した前年同期に係る報告セグメントごとの数値で前年同期比較を行っております。

ポータル事業においては、10月からniconicoの新バージョン「Q」のサービスを開始。ニコニコ生放送では、将棋の電王戦やアニメの一举放送、国会生中継、視聴ニーズに対応した緊急生放送など、ニコニコ生放送ならではの番組を放送しました。

また、ニコニコ動画では、動画視聴ページにおいて、動画を視聴しながらの動画検索や視聴している動画の詳細を確認しやすくするなどの改良を行いました。

さらに、ブログやメルマガなどの記事コンテンツを配信する「プロマガ」において、プレミアム会員限定でユーザもプロマガを配信することができるようになりました。

これらの取り組みにより、平成25年3月末には登録会員数3,255万人、様々な特典が受けられる有料の「プレミアム会員」は189万人となりました。

収益面では、「プレミアム会員」が順調に増加しており売上に貢献しています。

以上の結果、ポータル事業の売上高は76億51百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益（営業利益）は16億28百万円（前年同期比203.2%増）となりました。

モバイル事業においては、スマートフォンでiPhone向けに高音質楽曲配信サービス「dwango.jp」に続き、「animelo mix」を開始するなどサービスを拡充しました。また、Android™OSを搭載した端末には、最新シングル楽曲だけでなく、niconicoの人気ボカロ楽曲など当サービスでしか手に入らない楽曲を充実させ、サービス拡充に取り組みました。

また、効果的な広告を展開したことでスマートフォン会員数は堅調に増加しました。

従来の携帯電話端末向けには、引き続き主力となる音楽系サイトの着うた®や着うたフル®を中心にユーザ満足度向上に努めました。しかしながら、スマートフォンへの移行の影響を受け、会員数は減少しました。

費用面においては、著作権等使用料が減少しましたが、スマートフォン会員獲得のため、積極的に広告宣伝費を投下しました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は69億80百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益（営業利益）は3億68百万円（前年同期比70.7%減）となりました。

ゲーム事業においては、株式会社ポケモンと共同開発いたしましたゲームソフト「ポケモン不思議のダンジョン～マグナゲートと∞迷宮（むげんだいめいきゅう）～」、海外タイトルの国内版「セイントロウ ザ・サード」を発売しました。また、前期に発売した「スーパーダンガンロンパ2 さよなら絶望学園」のリピートオーダーが売上及び利益に貢献しました。しかしながら、パッケージソフトの大型ブランドタイトル数が前年同期に比べ少なかったことにより売上が減少しました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は18億47百万円（前年同期比46.1%減）、セグメント利益（営業利益）は2億57百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

ライブ事業においては、「ニコニコ町会議 presents ニコニコ雪会議 in 北海道」と題した今年初めてのユーザ参加型イベントを開催しました。また、ニコニコミュージカルでは、「千本桜」を公演しました。ライブハウス「ニコファーレ」では、niconico関連のイベントやコンサート、ゲーム系イベントなどを開催した他、各種イベント向けにホールの貸出なども行いました。

以上の結果、ライブ事業の売上高は2億39百万円（前年同期比39.1%増）、セグメント損失（営業損失）は1億80百万円（前年同期は3億1百万円の損失）となりました。

その他事業においては、主にアニメ分野やniconicoから生まれたコンテンツのCDやDVDなどの音楽出版及び著作権利用料収入が売上に貢献しました。

以上の結果、その他事業の売上高は10億26百万円（前年同期比27.5%減）、セグメント損失（営業損失）は1億48百万円（前年同期は1億95百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高173億73百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益14億38百万円（前年同期比73.8%増）、経常利益14億50百万円（前年同期比102.4%増）、四半期純利益は14億43百万円（前年同期比197.7%増）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は259億99百万円（前期連結会計年度末より13億46百万円増）となりました。四半期純利益14億43百万円に伴う現金及び預金の増加などにより、資産が増加しました。

負債合計は、65億57百万円（前期連結会計年度末より1億64百万円増）となりました。短期借入金の増加などにより、負債が増加しました。

純資産合計は、194億42百万円（前期連結会計年度末より11億81百万円増）となりました。四半期純利益14億43百万円に伴う利益剰余金の増加などにより、純資産が増加しました。

この結果、自己資本比率は74.6%（前期連結会計年度末より0.7ポイント増）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ9億94百万円増加し、71億54百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加などにより、前第2四半期連結累計期間と比べ3億97百万円増加し、20億33百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出の減少などにより、前第2四半期連結累計期間と比べ10億13百万円支出が減少し、8億37百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出の減少などにより、前第2四半期連結累計期間と比べ、6億35百万円支出が減少し、2億円の支出となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境の変化は早く、それに伴い当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されることから通期業績のみを開示することとしております。連結業績予想は当第2四半期連結累計期間における順調な進捗を踏まえ、平成24年11月14日発表の業績予想から、現時点では変更はありません。

(参考情報)

当第2四半期連結業績

〔売上構成〕

(金額：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (売上比)	当第2四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
売上高	18,293	17,373	36,243	
ポータル事業	6,595 (36.1%)	7,651 (44.0%)	13,961 (38.5%)	niconicoのプレミアム会員数が増加したことによります。
モバイル事業	7,304 (39.9%)	6,980 (40.2%)	14,302 (39.5%)	月額会員制サイトの会員数が減少したことによります。
ゲーム事業	3,429 (18.7%)	1,847 (10.6%)	5,816 (16.0%)	パッケージゲームの大型タイトルが減少したことによります。
ライブ事業	172 (0.9%)	239 (1.4%)	653 (1.8%)	
その他事業	1,415 (7.7%)	1,026 (5.9%)	2,693 (7.4%)	
消去又は全社	△623 (△3.4%)	△372 (△2.1%)	△1,183 (△3.3%)	

〔売上原価主要科目〕

(金額：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (売上比)	当第2四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
売上原価	11,060 (60.5%)	9,193 (52.9%)	22,381 (61.8%)	
人件費	2,802 (15.3%)	2,859 (16.5%)	5,829 (16.1%)	開発人員が増加したことによります。
支払手数料	839 (4.6%)	836 (4.8%)	2,067 (5.7%)	
著作権等使用料	2,357 (12.9%)	1,967 (11.3%)	4,498 (12.4%)	着うた®・着うたフル®のダウンロードが減少したことによります。
外注費	2,798 (15.3%)	1,572 (9.0%)	5,383 (14.9%)	生放送制作費の減少及びパッケージゲームの大型タイトルが減少したことによります。
通信費	1,240 (6.8%)	1,376 (7.9%)	2,605 (7.2%)	niconicoの回線費用が増加したことによります。
その他	1,636 (8.9%)	1,368 (7.9%)	3,433 (9.5%)	
たな卸資産の増減	308 (1.7%)	△110 (△0.6%)	15 (0.0%)	ソーシャルゲームの開発により製品が増加したことによります。
(他勘定振替)	△921 (△5.0%)	△677 (△3.9%)	△1,451 (△4.0%)	

## 〔販売費及び一般管理費主要科目〕

(金額：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (売上比)	当第2四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
販売費及び 一般管理費	6,405 (35.0%)	6,742 (38.8%)	12,516 (34.5%)	
広告宣伝費	2,204 (12.1%)	2,900 (16.7%)	4,424 (12.2%)	モバイル事業の広告が増加したことによります。
人件費	1,244 (6.8%)	1,181 (6.8%)	2,464 (6.8%)	
支払手数料	1,787 (9.8%)	1,601 (9.2%)	3,375 (9.3%)	
研究開発費	194 (1.1%)	194 (1.1%)	426 (1.2%)	
その他	973 (5.3%)	864 (5.0%)	1,825 (5.0%)	

※当第2四半期連結会計期間末の従業員数(連結)は、965名となり、第1四半期連結会計期間末より44名減少しており、前連結会計年度末より67名減少しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,164,325	7,159,259
受取手形及び売掛金	6,333,152	6,350,960
商品及び製品	31,753	138,458
仕掛品	555,839	559,598
原材料及び貯蔵品	1,968	11,325
その他	1,676,096	1,585,417
貸倒引当金	△8,752	—
流動資産合計	14,754,383	15,805,019
固定資産		
有形固定資産	2,048,774	1,916,147
無形固定資産		
のれん	1,045,392	909,659
ソフトウェア	2,009,144	2,176,045
その他	28,654	9,217
無形固定資産合計	3,083,191	3,094,922
投資その他の資産		
投資有価証券	3,723,579	4,018,076
その他	1,241,230	1,354,770
貸倒引当金	△198,152	△189,152
投資その他の資産合計	4,766,657	5,183,694
固定資産合計	9,898,623	10,194,764
資産合計	24,653,007	25,999,783
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,920,634	1,757,115
短期借入金	206,416	444,062
未払法人税等	351,049	185,664
賞与引当金	526,837	424,728
ポイント引当金	30,812	54,161
資産除去債務	—	112,937
その他	2,967,716	3,208,877
流動負債合計	6,003,466	6,187,546
固定負債		
長期借入金	28,354	—
資産除去債務	315,174	233,076
その他	45,188	136,427
固定負債合計	388,716	369,503
負債合計	6,392,182	6,557,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,616,302	10,616,302
資本剰余金	9,497,345	9,076,827
利益剰余金	△1,893,765	△437,567
自己株式	△5,636	△5,636
株主資本合計	18,214,245	19,249,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,726	157,342
為替換算調整勘定	△1,101	745
その他の包括利益累計額合計	3,625	158,088
少数株主持分	42,954	34,720
純資産合計	18,260,824	19,442,733
負債純資産合計	24,653,007	25,999,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	18,293,668	17,373,686
売上原価	11,060,841	9,193,485
売上総利益	7,232,826	8,180,201
販売費及び一般管理費	6,405,252	6,742,057
営業利益	827,573	1,438,143
営業外収益		
受取利息	3,371	1,745
受取配当金	900	1,750
持分法による投資利益	13,229	—
業務受託料	1,800	7,985
保険返戻金	—	12,166
投資事業組合運用益	—	7,711
その他	17,414	22,557
営業外収益合計	36,715	53,915
営業外費用		
支払利息	4,726	1,717
持分法による投資損失	—	37,741
貸倒引当金繰入額	125,167	—
投資事業組合運用損	8,353	—
その他	8,994	1,625
営業外費用合計	147,242	41,083
経常利益	717,046	1,450,976
特別利益		
負ののれん発生益	132,142	—
関係会社株式売却益	2,100	4,476
特別利益合計	134,242	4,476
特別損失		
固定資産除却損	5,001	—
投資有価証券評価損	36,045	—
ゴルフ会員権評価損	—	5,810
事務所移転費用	19,121	—
その他	118	—
特別損失合計	60,286	5,810
税金等調整前四半期純利益	791,003	1,449,642
法人税、住民税及び事業税	163,722	169,625
法人税等調整額	48,269	△169,583
法人税等合計	211,992	42
少数株主損益調整前四半期純利益	579,011	1,449,599
少数株主利益	94,082	5,901
四半期純利益	484,928	1,443,697

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	579,011	1,449,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,656	152,615
為替換算調整勘定	916	1,869
その他の包括利益合計	19,572	154,485
四半期包括利益	598,584	1,604,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504,490	1,598,160
少数株主に係る四半期包括利益	94,093	5,924

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	791,003	1,449,642
減価償却費	778,087	801,010
のれん償却額	91,415	135,732
負ののれん発生益	△132,142	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,107	△98,384
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	122,002	△16,982
受取利息及び受取配当金	△4,271	△3,495
支払利息	4,726	1,717
持分法による投資損益 (△は益)	△13,229	37,741
投資事業組合運用損益 (△は益)	8,353	△7,711
投資有価証券評価損益 (△は益)	36,045	—
ゴルフ会員権評価損	—	5,810
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,100	△4,476
固定資産除却損	5,001	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△596,320	△205,091
たな卸資産の増減額 (△は増加)	296,017	△118,345
仕入債務の増減額 (△は減少)	67,442	24,940
未払金の増減額 (△は減少)	545,925	83,360
その他	△22,204	257,544
小計	1,972,642	2,343,010
利息及び配当金の受取額	4,271	23,015
利息の支払額	△4,740	△1,717
法人税等の支払額	△336,027	△331,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,636,146	2,033,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△893,422	△329,990
無形固定資産の取得による支出	△592,828	△470,049
投資有価証券の取得による支出	△149,900	△37,500
投資有価証券の売却による収入	—	25,500
子会社株式の取得による支出	△318,394	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△116,749
関係会社株式の売却による収入	17,100	—
貸付けによる支出	△11,130	—
貸付金の回収による収入	2,889	135,826
その他	△6,260	△44,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,851,946	△837,958
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△280,000	—
短期借入れによる収入	1,330,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△90,708	△90,708
リース債務の返済による支出	△1,981	△2,532
自己株式の取得による支出	△1,390,989	—
配当金の支払額	△401,844	△407,166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△835,522	△200,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,726	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,049,596	994,933
現金及び現金同等物の期首残高	6,997,631	6,159,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,948,035	7,154,259

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ポータル 事業	モバイル 事業	ゲーム 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,411,216	7,303,938	3,409,647	166,880	17,291,683	1,001,985	18,293,668	—	18,293,668
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	184,257	277	19,794	5,672	210,001	413,465	623,467	△623,467	—
計	6,595,473	7,304,215	3,429,442	172,553	17,501,685	1,415,450	18,917,135	△623,467	18,293,668
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	537,054	1,258,219	433,112	△301,761	1,926,625	△195,629	1,730,995	△903,422	827,573

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△903,422千円は、セグメント間取引消去96,420千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△999,842千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成24年3月31日付で株式会社CELLを株式交換により完全子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては491,678千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、株式会社ゲームズアリーナの株式追加取得時における取得原価が減少する少数株主持分の金額を下回ったため、その超過額を負ののれん発生益として認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては131,473千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ポータル 事業	モバイル 事業	ゲーム 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,419,430	6,979,835	1,841,876	224,267	16,465,409	908,277	17,373,686	—	17,373,686
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	232,070	478	5,656	15,670	253,876	118,431	372,307	△372,307	—
計	7,651,500	6,980,313	1,847,533	239,938	16,719,286	1,026,708	17,745,994	△372,307	17,373,686
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,628,240	368,962	257,317	△180,497	2,074,022	△148,385	1,925,637	△487,493	1,438,143

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△487,493千円は、セグメント間取引消去231,693千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△719,186千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当社グループでは事業区分を明確化する組織再編を実施しており、業績管理体制の見直しを行いました。それに伴い、のれん償却額につきまして、前連結会計年度まで各報告セグメントに配賦してございましたが、第1四半期連結累計期間より「ポータル事業」に配賦する方法に変更しております。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の「ポータル事業」のセグメント利益が135,732千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社グループでは事業区分を明確化する組織再編を実施しており、業績管理体制の見直しを行いました。それに伴い、のれんにつきまして、前連結会計年度まで「その他」に区分してございましたが、第1四半期連結累計期間より「ポータル事業」に区分する方法に変更しております。なお、当該事象による「ポータル事業」ののれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては909,659千円であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。